

経営比較分析表（令和6年度決算）

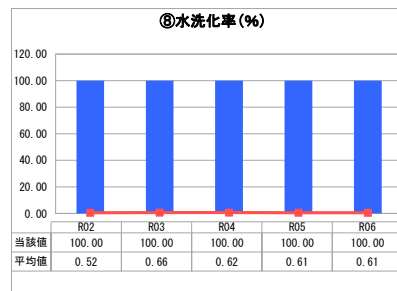
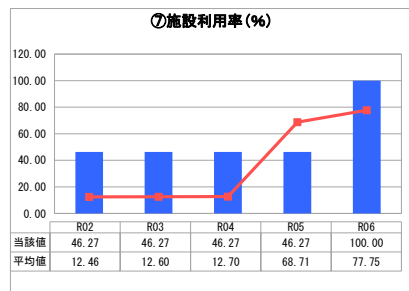
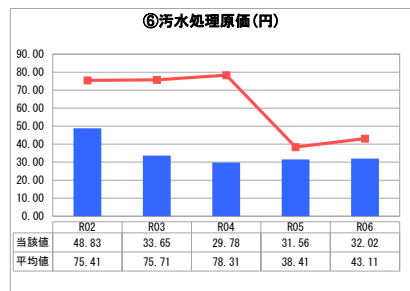
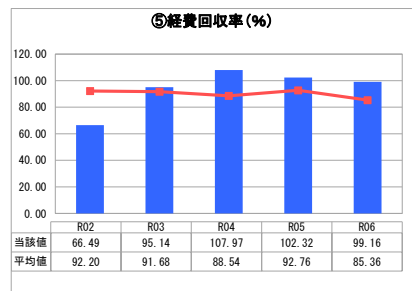
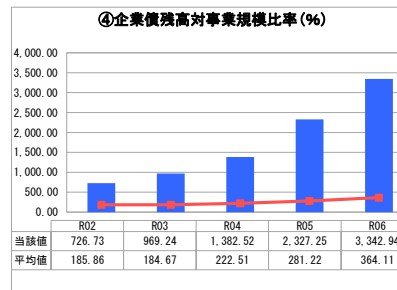
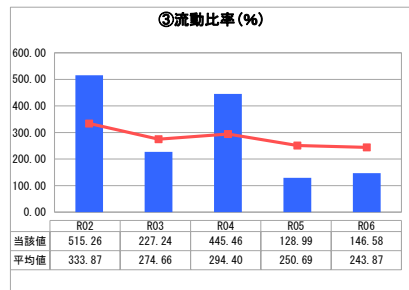
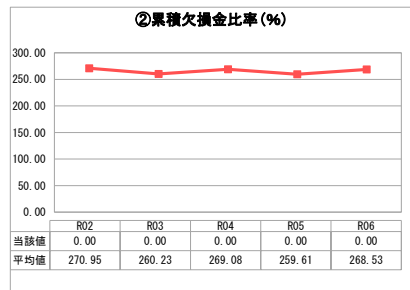
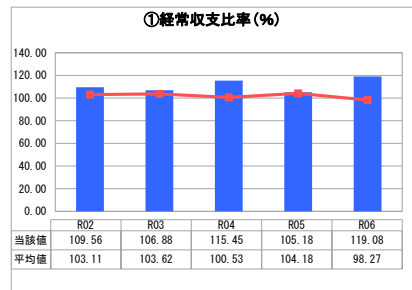
岩手県 北上市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|---------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 特定公共下水道 | - | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 36.58 | 0.24 | 94.35 | 3,414 |

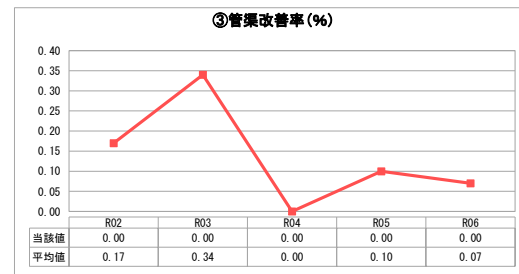
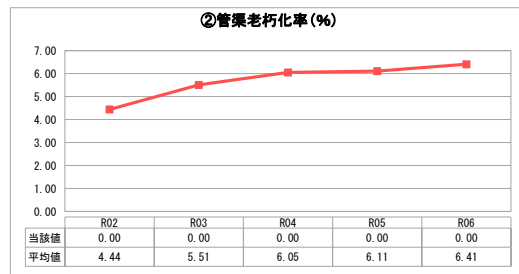
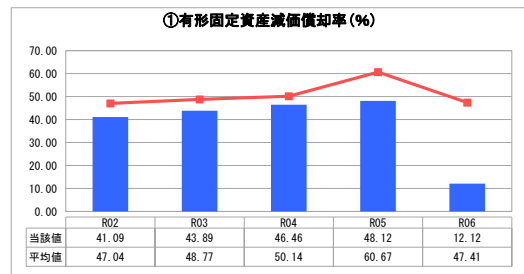
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 91,090 | 437.55 | 208.18 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 220 | 1.63 | 134.97 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和6年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①指標は100%を超えています。使用料収入は増加傾向ですが、当市の特定公共下水道事業は政策的に低廉な使用料設定としていることから繰入金への依存度は高いと言えます。

②累積欠損金は発生していませんが、引き続き経営改善に取り組んでいきます。

③終末処理場に係る大規模な設備投資により企業債償還額が増加し、その財源として一般会計からの繰入金を予定しており、引き続き注視していく必要があります。

④大規模な設備投資を行っており多額の企業債を発行したため、指標は大幅に増加しています。今後も終末処理場の増設等を行う場合には企業債残高がさらに増加していくため、注視していく必要があります。

⑤現状では概ね100%程度ですが、終末処理場増設に係る減価償却費等の費用が増加するため、令和7年度以降は経費回収率が大幅に減少する見込みです。

⑥類似団体平均よりも低い水準ですが、終末処理場増設に係る費用増により今後は高くなる見込みです。

⑦終末処理場増設により施設利用率が向上しました。今後も立地企業の動向に合わせて、施設のスペックに過不足が生じないように注視していきます。

⑧整備が完了し、受益者の接続も完了しています。

2. 老朽化の状況について

①類似団体の平均を下回る状況であり、また、終末処理場に係る大規模な設備投資により指標が減少しています。今後もストックマネジメント計画に基づき、計画的に施設・設備の更新や長寿命化を行っていきます。

②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、今後は管渠の経過年数等を把握し、長寿命化事業等を計画的に行っていきます。

③法定耐用年数を超えた管渠がないことから、更新等は行っていませんが、今後は管渠の経過年数等を考慮し、計画的に更新を行っていく必要があります。

全体総括

大口使用者の排水量が増えたため使用料収入が増加しており、今後は立地企業の製品増産に合わせて増加の見込みです。一方、費用については終末処理場増設に伴い、減価償却費及び支払利息等の資本費や維持管理費の増が見込まれ、一般会計の繰入金への依存度が高い状況が続きます。

既存の終末処理場については一定の長寿命化工事は行っているものの、施設の老朽化は依然進んでおり、今後は適切な維持管理と計画的な設備更新が必要です。

現在行っている大規模な設備投資とそれに伴う維持管理費用の増等を適切に見込み、長期的な財政・投資計画の進捗管理を行いながら、強固な財政基盤の構築に取り組んでいく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。